



# 2012年度活動報告書

2012年4月～2013年3月

## 1 相談支援活動

相談支援の拠点として、「あすからの暮らし相談室・宮古」を宮古市保久田に設置し、被災者など生活に困難を抱える方を対象に、面接、電話、出張等により相談及び支援を実施した。

相談支援の手法としては、生活に困窮している住民に対し、地域資源と連携しながら、個別的、継続的、制度横断的、伴走型、寄り添い型の生活再建支援を行った。

岩手県が行う「いわて求職者個別支援モデル事業」に、NPO法人いわて生活者サポートセンターとともに共同提案し、宮古地域における実施を部分的に受託した。結果として、ハローワークとの緊密な連携が実現し、就労支援が充実し成果を上げた。就職決定者22件。

仮設住宅における聴き取り調査の機会を積極的に持った。結果として、生活困窮者の掘り起しと、相談支援につながった。

2012年度の活動数は、4,641件(面接相談659件、電話相談1,329件、出張相談160件、関係機関との連携2,493件)、相談室訪問者785件、実相談者数306人であった。

また、2012年5月から、田野畑村において定期的に出張相談会を開始。同年6月からは、岩泉町(二か所)、山田町、宮古市田老地区においても出張相談会を開催している。のべ開催回数61回。相談者数64人。

緊急的な食糧支援が必要なケースが増加していることから、SAVE IWATEと連携し、必要への食糧支援を適時実施した。また、あきゆらいずから送付された米を必要な方へ配付する「くらしの困った!を解決するお米」キャンペーンを実施した。

利用者間の交流を促し、孤立を防止するための「あすくら友の会」を2013年2月から2回実施。参加者数のべ8人。

## 2 社会的包摂推進活動

### (1) 「つむぎサロン・みやこ」事業

被災者同士の交流と自立支援、相談の掘り起しにつながることを期待し、SAVE IWATEが行う復興ぞうきん事業(支援物資のタオルを被災者が仕立ててSAVE IWATEが買い上げる事業)と連携し、「つむぎサロン・みやこ」を2012年5月から毎月開催している。利用者数240人。

### (2) 物資支援事業

2011年6月からSAVE IWATEとの連携により、被災者等必要としている方を対象に生活用品などの物資を確保しているほか、2012年8月からは、当室のウェブサイト等において、一般から広く支援物資を求めている。支援の提供を受け入れた件数は23件。物資は相談室内及び専用倉庫に配備し、極度な生活困窮状態にある方へ提供している。なお、専用倉庫は2013年2月からジャパン・プラットフォームの助成により宮古市内にアパートの一室を借り上げる形で設置している。

### (3) 「ハンド・リラクゼーション」事業

孤立防止、相談の掘り起しにつながることを期待し、IDTA セラピスト協会と連携し、「ハンド・リラクゼーション」を2012年7月から原則毎週開催。利用者数50人。

### (4) 出前講座事業

社会的包摂理念を広く一般に伝え、事業への協力を促す目的及び内容で出前講座を開催。希望に応じ、講師を無料で派遣している。実施回数17回。受講者1,475人

### (5) ボランティア事業

社会的包摂理念を広く普及させていくため、活動を手伝うボランティアを2012年8月から募集し、受け入れている。ボランティア活動実績のべ29人。

### (6) 社会的事業推進事業

関係機関等とともに社会的事業所の設立に向けた視察、研修、協議等を行っている。企業のCSR活動と社会的事業の推進を連携させる取り組みを進めるため、日本NPOセンターが実施するインターンシップに参加し知見を広げた。また、県内にフードバンクを設置する事業に参画している。

### (7) 「パソコン教室」事業

支援対象者に対する就労意欲の向上を図るとともに、パソコン技能を高める目的で「パソコン教室」を随時開催している。開催実績8回。8人

### (8) 支援者養成講座

「あすからの暮らし相談室・釜石」とともに、当室の活動に協力してくれる支援者を養成する講座を2012年9月に釜石市において開催した。受講者のべ244人。

### (9) 「あすくら・宮古カフェ」事業

生活困窮者が生み出されづらい社会を実現するため、いいまち、いい暮らしを創る！をテーマとした「あすくら・宮古カフェ」を2012年12月に初開催。2回実施。参加者数のべ38人。

### (10) 「あすからの豊かな暮らしづくりプロジェクト」事業

誰しもが、豊かで、やさしく、おおらかな暮らしが送れ、ともに繋がり続く温かい連帯のある地域づくりを目指すための知恵と技をかつての日本の暮らしに求め、震災復興のモデルとなりうる新しい理念の構築を行うため、2013年2月から第1フェーズとして聞き書きを開始した。

## 3 地域ネットワーク活動

個別の相談支援においては、必要な社会資源と適宜連携し、相談支援事業を通じて、地域のネットワークづくりを行っている。また、適時、各社会資源と連携のための協議を行った。各社会資源にはチラシ・ポスターを配布し、活動への協力を依頼した。

地域ネットワーク構築のため参画している連絡会議等は以下のとおり。



- ・宮古市生活復興支援センター連絡協議会
- ・宮古地域支援団体連絡会議
- ・宮古地域自殺対策連絡会議
- ・障害者生活支援連絡会議権利擁護部会
- ・もりおか復興支援ネットワーク

「生活再建支援機構いわて」の会員として、「あすからの暮らし相談室・釜石」の設立及び運営、「よりそいホットライン」及び「これからの暮らし仕事支援室」の運営に参画し、岩手県内における支援ネットワークの構築を行った。

#### 4 その他の活動

報道機関に対して活動に係るプレス・リリースを行っている。また、視察・取材対応を通じて、活動の実情、被災者の状況などを伝えた。

NOLA JAPAN QUAEK FUND の助成により、2012年8月からウェブサイトを更新し、活動を積極的にPRした。また、2012年9月には、活動をPRするビデオを作成し公開したほか、バス広告を掲出した。

各ドナーとは、助成金の申請、事業の報告のみならず、適宜連携し、情報交換、セミナー等への参加等をした。

職員の資質を高める研修には随時積極的に派遣した。

新しい家族のカタチ、地域のカタチを構築するための視察、調査等も実施した。



# あすからのくらし相談室・宮古 活動統計

2012年4月～2013年3月

項目	件数	備考
活動数	4,641	
面接相談	659	
電話相談	1,329	
出張相談	160	
関係機関との連携	2,493	
相談室訪問者	785	
新規利用者	306	
支援対象者	251	
ハローワークとの連携	60	
就職決定	22	
社会参加	21	

